



日・ウズベキスタン官民都市インフラ会議の結果概要について

国土交通省は、9月29日(火)に、ウズベキスタンにおいて「質の高い都市インフラ」をテーマとした官民会議を相手国政府等との共催により開催しました。

ウズベキスタンからは、トゥリャガノフ対外経済関係貿易投資副大臣、ウスマノフ・タシケント市長などのウズベキスタン政府関係機関の幹部・関係者やウズベキスタン企業の幹部・関係者が参加し、日本からは、鈴木政務官とともに日本企業24社が参加しました。

本会議においては、日本企業の都市インフラ関連技術や実績等の紹介、日本企業とウズベキスタン企業のビジネスマッチングが行われ、両国参加者より、今後の両国の協力関係の強化、案件形成への大きな期待が寄せられました。

各概要は、以下のとおりです。

日・ウズベキスタン官民都市インフラ会議

(1) 日時・場所

日時:平成27年9月29日(火) 13:30~17:00

場所:ウィンダムホテル(ウズベキスタン共和国タシケント市)

(2) 参加者 <計180名程度>

日本 : 国土交通省鈴木大臣政務官ほか、日本企業24社 (約60名)

ウズベキスタン : トゥリャガノフ対外経済関係貿易投資副大臣、
ウスマノフ・タシケント市長、ウズベキスタン政府関係者、
ウズベキスタン企業関係者 等 (約120名)

(3) 会議概要

会議冒頭、ウズベキスタン側よりトゥリャガノフ対外経済関係貿易投資副大臣及びウスマノフ・タシケント市長、日本側より鈴木政務官及び加藤大使が挨拶をし、「質の高いインフラ投資」の重要性について言及しました。

会議では、国土交通省より「質の高いインフラ投資」に関する発表を行った後に、日本企業より各社の技術や実績等について発表を行いました。さらに、「インフラの運営等に係るシステム」と「インフラの施工機械・技術」の2つの分野に関するワークショップを行った後に、両国参加企業のビジネスマッチングの場を設けました。

会議全体を通して、我が国が提唱する「質の高いインフラ投資」や日本企業の技術等について活発な意見交換がなされ、同国における日本企業の進出に大きな期待が寄せられました。



<鈴木政務官による冒頭挨拶>



<ウスマノフ タシケント市長による冒頭挨拶>



<会場の様子①>



<会場の様子②>



<国土交通省による基調講演>



<ビジネスマッチングの様子>

<問い合わせ先> 国土交通省総合政策局国際政策課(グローバル戦略) 勝瑞、宇佐見
電話 03-5253-8111(内線 25224、25215)、直通 03-5253-8316
FAX 03-5253-1562